

説教 「恵みに生かされる」

申命記 26 章 1-11 節 コリントの信徒への手紙Ⅱ 8 章 8-9 節

2021 年 6 月 20 日(日)主日礼拝

日本基督教団 仙川教会

大串肇牧師

わたしたちの信仰生活の中心は礼拝です。神を礼拝することが信仰であると言えるでしょう。確かに心の中に神を信じるのが第一です。しかしその神を信じる心を自分の心の中にしまっておくだけではなく、明らかにしていくこと、公にして初めて信仰と言えます。

聖書の世界では古くはイスラエルの人々が自分たちの信仰を礼拝で告白することが行われていたことがわかっています。「信仰告白」です。もちろん神との出会いや信仰に至るプロセスはいろいろな形があつてよいのです。しかしながら、信じる神は唯一であり、同じ神であることを皆で告白することはとても重要です。わたしたちの信仰は個人的であるようですが、共同体的でもあるからです。古いイスラエルになぞらえて、キリスト教会は新しいイスラエルであると言われている通りです。

さて、旧約聖書の申命記という書を通して今朝わたしたちには御言葉が与えられています。それによると、神はイスラエルに命じられました。それはイスラエルがエジプトから脱出して荒野を 40 年間放浪しつつ、ようやく約束の地であるカナンへの地に入る直前の時でした。その神の命令内容はひとつの礼拝を捧げるように詳しく指示がなされています。

まず、主が与えられる土地に入り、そこに住むときには、地の実りの初物を取って籠に入れ、選ばれる場所、すなわち聖なる場所に行くことです。そしてそこにいる祭司のもとに行き、到着を報告するとともに、神の前に信仰告白することでした。その内容が 5-10 節前半まで記されています。

まず、「わたしの先祖は、滅びゆくアラム人であり」と書いてあります。これは創世記に出てくる族長ヤコブの事です。イスラエルと呼ばれることになるヤコブがどうしてアラム人なのか。たぶん、アラム人であったと言うのは、ヤコブの妻がアラム人であったかもしれません。いずれにせよ、ヤコブたちやその子たちの家族は飢饉を逃れてヨセフのいるエジプトに逃れました。その時は僅か 70 名でしたが、ついには 60 万と言われているが、「強くて数の多い、大いなる国民」になっていました。しかしその豊かさのゆえに、ねたまれ、反感を買い、エジプト人は彼らを虐げ、苦しめ、重労働を課しました。

神は民の苦しみを知り、モーセを遣わして彼らを奴隷状態から救い出しました。不思議な奇跡や徴を起こさせ、また、海の中をイスラエルの民全員を渡らせるなどの大いなる奇跡を起こして彼らをエジプトからお救いになったのです。ところが彼らには住む家も土地もありませんでした。そこで彼らはかつて父祖たちに神が約束された土地を目指して荒野をさまよい、ようやく「乳と蜜の流れる」土地に到着することになるのです。

ここに記されたことはイスラエルの歴史の短い要約です。但し、その中で活動した指導者たちの名前は敢えて省略されています。というのはこれらの歴史の歩みは全て神の奇跡のような御業であるというのがこの信仰の特徴であり、告白の要だか

らです。言い換えれば、このような仕方では神は恵んでくださったことをイスラエルは感謝していると言えます。そしてその土地の初なりの実りを御前に捧げ、その喜びを自分たちばかりではなく、かつての自分たちと同じ立場の寄留者たちとも分かち合うのです。

イスラエルの人たちは一度ならず、この信仰告白をもって行う礼拝を毎年春の収穫祭、7週祭として祝いました。キリスト教会ではその時節がペンテコステにあたります。しかしイスラエルが行っているように収穫の実りを神への感謝のしるしとして捧げ、自分たちの信仰を共に神の御前に告白することはわたしたちにとっても重要です。神の恵みに対する感謝こそ礼拝そのものであると言えるのではないのでしょうか。神への信仰を告白するとは、神の恵みへの応答です。

「わたし」一個人ではなく、「わたしたち」に示してくださった恵みを互いに分かち合うこと。これが礼拝の喜びではないのでしょうか。

わたしたちにとりましては、神に与えられた恵みとは何でしょうか。それはイエス・キリストの十字架と復活によって与えられた恵みではないのでしょうか。

使徒パウロはこう述べました。

「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。
すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです」
(Ⅱ コリ 8:9)。

主イエス・キリストの十字架によってわたしたちは罪から贖われました。そして永遠の生命と言う大いなる恵みを頂いたのです。それはイスラエルだけではありません。全ての人々の罪は赦され、新しい命に招かれているのです。それがわたしたちの恵み、「**主イエス・キリストの恵み**」に他なりません。

わたしたちはこの恵みの福音に知らせに心の耳を開きましょう。そして一緒に神への信仰を御前に告白してまいりましょう。「恵みに生かされる」人生を歩んでまいりましょう。お祈りいたします。